

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>



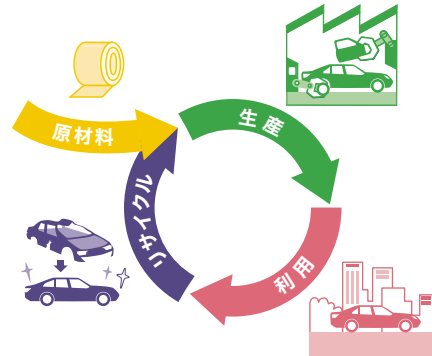
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタピクシスバン 環境仕様

車両型式	3BD-S700M			5BD-S700M		3BD-S710M		5BD-S710M		
車両重量	kg	950	910~930	880~900	910	990	950~970	930~940	950	
CO ₂ 排出量*1	WLTC	g/km	158	149	156	149	158	149	149	
	JC08	g/km	118	113	129	113	122	114	114	
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)		平成30年排出ガス規制適合*2			平成30年基準排出ガス50%低減レベル*2		平成30年排出ガス規制適合*2		平成30年基準排出ガス50%低減レベル*2
	認定レベル値	CO	g/km	4.02			4.02		4.02	
	または適合規制値	NMHC	g/km	0.10			0.10		0.10	
		NOx	g/km	0.05			0.025		0.05	
車外騒音	加速/定常/近接*3	db	73(規制値) / - / -							
冷媒の種類(GWP値*4)/使用量	g	HFC-134a(1430*5) / 325								
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*6)								
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*7)								
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
車室内VOC*8	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)									
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品		バンパーカバー、インストルメントパネル、その他内装材							
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり							
	リサイクル材の使用		フェンダーエクステンション、ルーフヘッドライニングパッドなど							

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。 *2. WLTCモード走行 *3. 平成28年騒音規制 *4. GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *5. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。 *6. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。 *7. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。 *8. VOC: Volatile Organic Compounds

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。
(<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>)



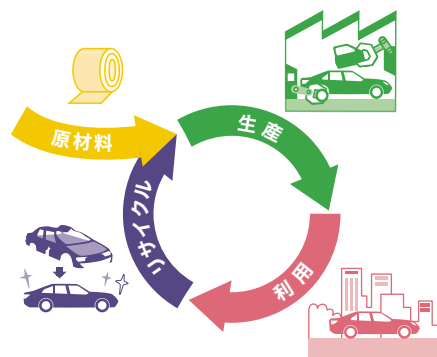
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタピクシスバン(電気自動車) 環境仕様

車両型式		ZAB-S781M
CO ₂ 排出量 	g/km	排出ガス規制の適用を受けない自動車
排出ガス	適合排出ガス規制	
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制N1A3A
	加速(規制値)/定常/近接	69/-/-
冷媒の種類(GWP値*1)/使用量	g	HFC-134a (1430*2)/325
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*3)
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*4)
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)
車室内VOC*5		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリム、フロント・リヤバンパーなど
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり
	リサイクル材の使用	ルーフヘッドライニングパッド

- *1. GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数)
- *2. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。
- *3. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)
- *4. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)
- *5. VOC: Volatile Organic Compounds